

第3次
刈谷市スポーツマスタープラン
アクションプラン
＜素案＞

いち一市民いちスポーツ

～みんなのスポーツとわたしのスポーツ～

目 次

第1章 総論	1
1 アクションプランの背景と趣旨	1
2 対象施設	2
3 アクションプラン策定の流れ	3
第2章 条件整理	4
1 対象施設の概要	4
2 スポーツ施設整備に向けたニーズや整備状況の把握	9
第3章 整備の概要	15
1 刈谷市総合運動公園 整備計画	16
2 双葉グラウンド 整備計画	17
第4章 今後のスケジュール	18
参考資料	19

第1章 総論

1 アクションプランの背景と趣旨

本市では、平成31年3月に第3次刈谷市スポーツマスタープラン（2019年度～2028年度）を策定し、基本施策の一つである「施設の整備・充実・開放」に関し、取り組むべき内容として、「施設の計画的な整備・修繕」を掲げています。

この主な取組みとして、「総合運動公園の機能の拡充」や「スポーツ施設の適正配置」などを掲げており、施設の種類、内容、配置、運営方法、市民ニーズを勘案して、計画的に進めるとしています。

今後、各施設の老朽化等に伴う施設更新や機能向上を計画的に検討していく必要があることに加え、利用者ニーズの多様化や更なるスポーツ振興に対応するため、市民の意見を取りまとめた策定された「魅力あふれる公園づくり構想」などを踏まえ、今年度、本アクションプランを策定します。

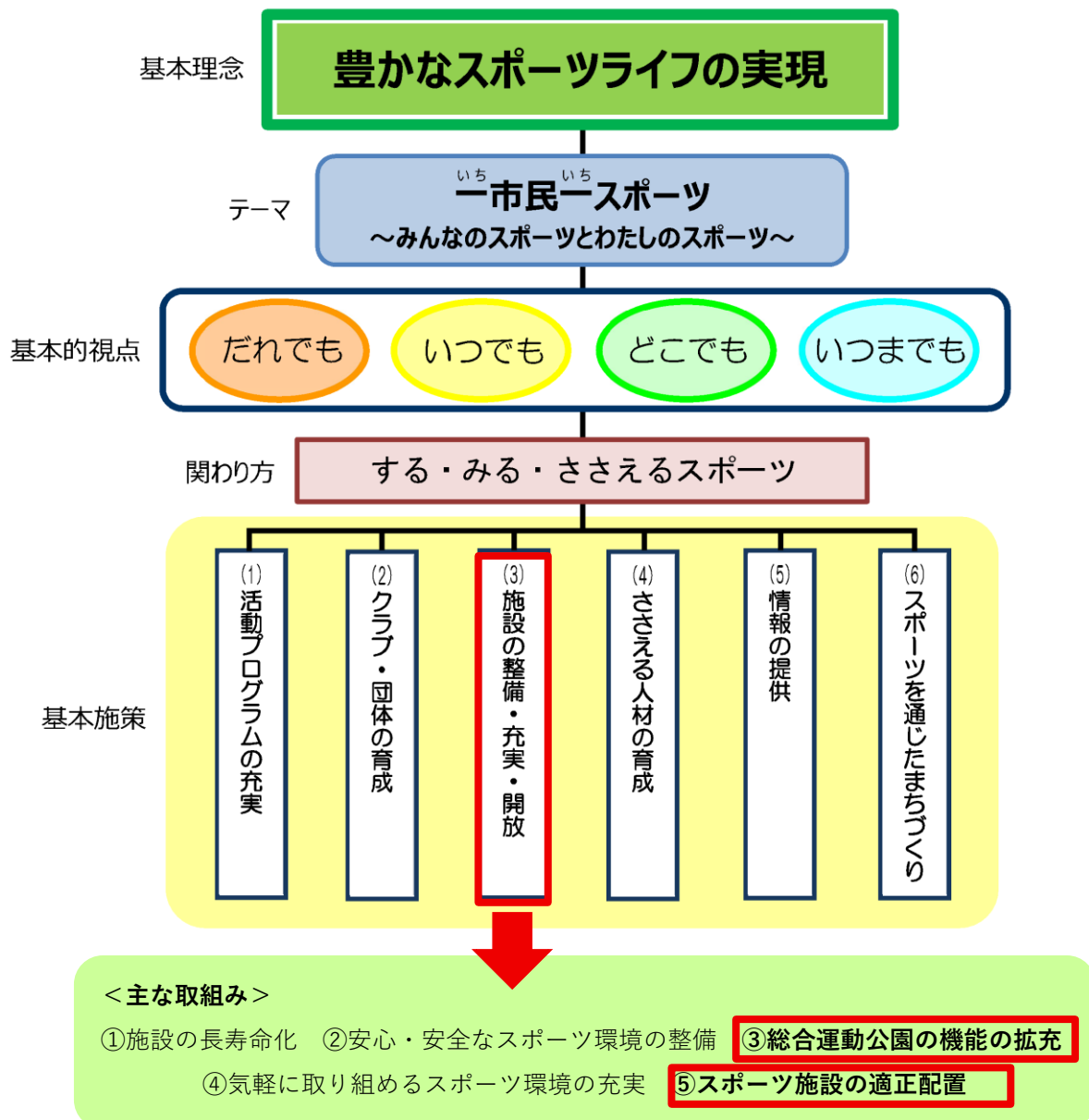


図 基本理念(第3次刈谷市スポーツマスタープラン)

2 対象施設

スポーツマスタープランの基本施策「施設の整備・充実・開放」において、取り組むべき内容である「施設の計画的な整備・修繕」のうち、「総合運動公園の機能拡充」及び「スポーツ施設の適正配置」を実現させるために必要な施設を選定しました。また、「魅力あふれる公園づくり構想」で示されたプラススポーツ・エリアの施設については、構想を踏まえた方針を検討します。

なお、早期着手が可能である1.刈谷市総合運動公園（①逢妻川北側拡張区域 ②自由広場 ③ウェーブスタジアム刈谷）、4.双葉グラウンドについては、本アクションプランで概略図を示します。

番号	対象施設
1	刈谷市総合運動公園 （①逢妻川北側拡張区域 ②自由広場 ③ウェーブスタジアム刈谷）
2	刈谷市体育館(武道場含む)
3	刈谷球場
4	双葉グラウンド

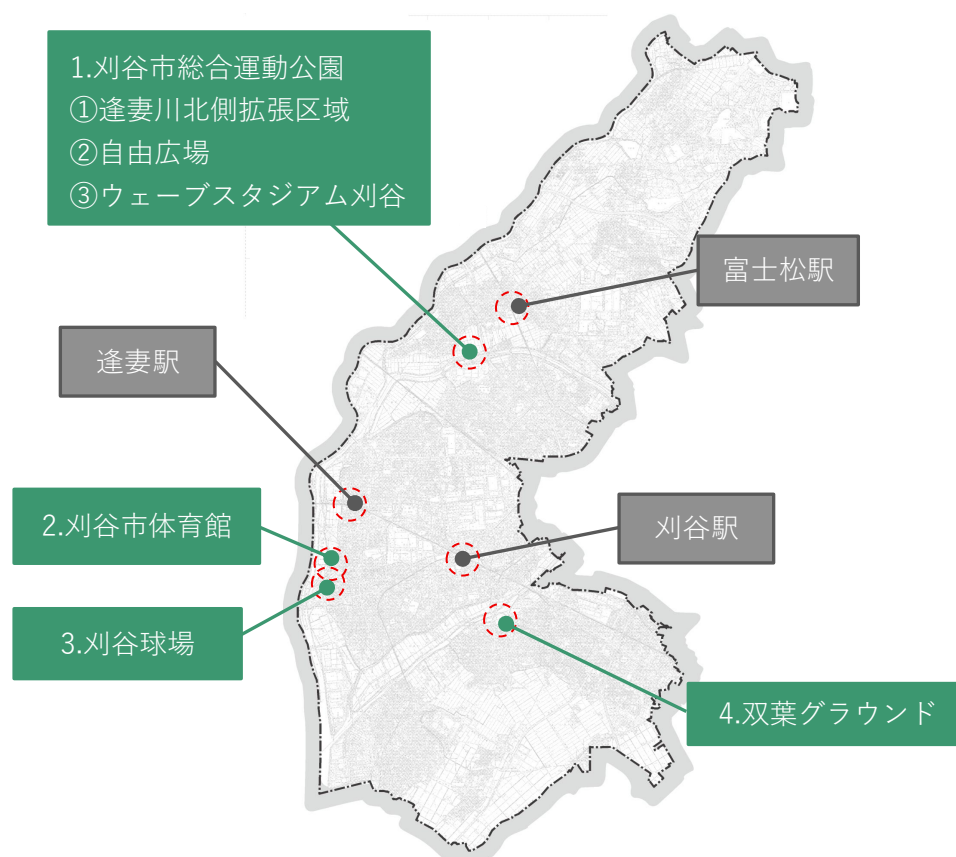
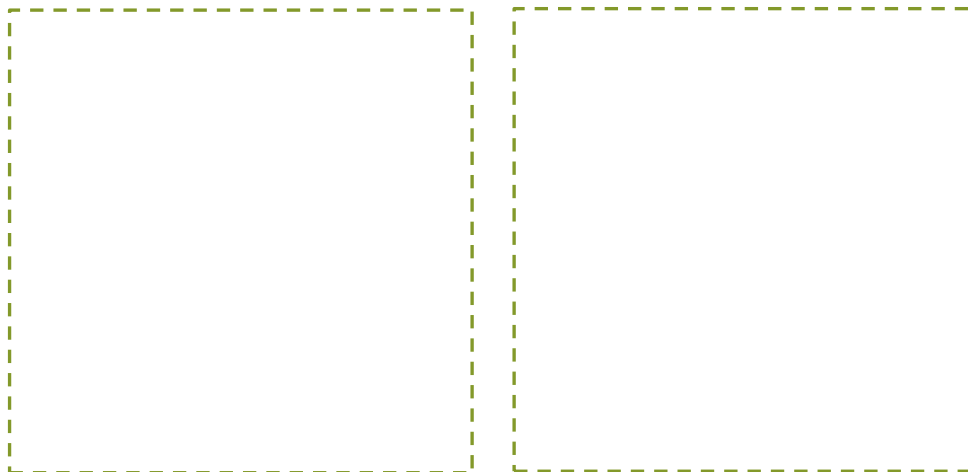


図 対象施設の位置図

3 アクションプラン策定の流れ

アクションプランの策定は以下の流れで実施しました。

年度		内容	備考
令和 8 年	5 月 19 日(火)	第 1 回スポーツ推進審議会	概要説明
	8 月 19 日(水)	第 2 回スポーツ推進審議会	素案の提示
	10 月 20 日(火)	第 3 回スポーツ推進審議会	最終案の決定
	12 月	パブリックコメント	
令和 9 年	1 月下旬	第 4 回スポーツ推進審議会	計画の完成
	3 月	アクションプランの策定	



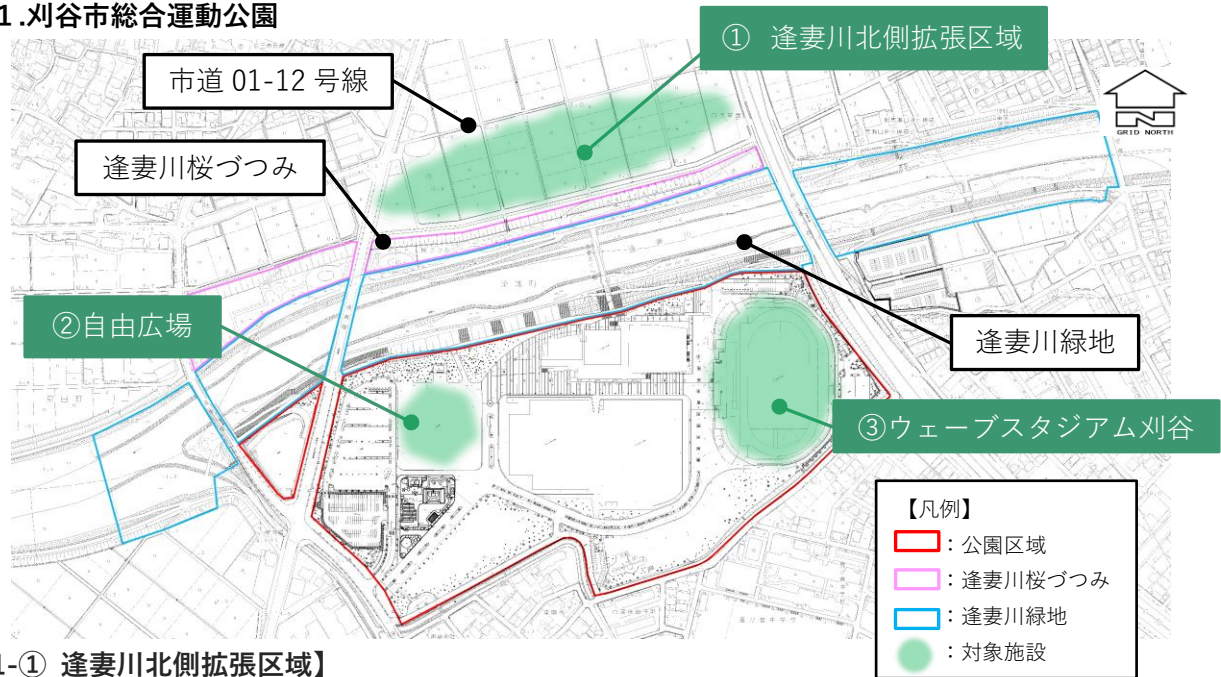
第 2 回スポーツ推進審議会の様子（写真）

第2章 条件整理

1 対象施設の概要

対象施設となる「刈谷市総合運動公園」、「刈谷市体育館」、「刈谷球場」、「双葉グラウンド」の概要を整理します。

1.刈谷市総合運動公園



【1-① 逢妻川北側拡張区域】

概要	・面積：約 4.3ha
現状	・公園の北側には農地が広がり、広大な土地となっている。 ・将来拡幅・延伸等の整備予定の市道 01-12 号線が位置している。
課題	・スケボーパーク実証実験を受け、若い世代を中心に人気や関心の高いアーバンスポーツができるスポーツ施設のニーズが高まっている。 ・グリーングラウンド刈谷はサッカー以外の他競技利用の要望に応えきれない。 ・「魅力あふれる公園づくり構想」の利活用イメージとの整合性を図る必要がある。 ・計画地は川沿いの低地である。
方向性	・ <u>アーバンスポーツを含め、ニーズの高いスポーツ施設を整備する。</u> ・ <u>様々な競技で利用できる多目的グラウンドを整備する。</u> ・ <u>魅力あふれる公園づくり構想の利活用イメージを踏まえた整備計画とする。</u> ・ <u>低地であることを考慮した整備計画とする。</u>



計画地西側からの眺め



計画地東側からの眺め

【1-② 自由広場】

概要	・面積：約 0.96ha 土舗装 ※臨時駐車場:351 台
現状	・土舗装の多目的な広場となっており、イベント時は駐車場となっている
課題	・本来、スポーツやイベントの会場として多目的に利用できる場所であるが、週末は臨時駐車場として使用されることが多い。
方向性	・ニーズや実施状況等を分析し、新たにスポーツ施設を整備する。 ・自由広場の機能は、北側拡張区域のプラススポーツ・エリアへ移転する。 ・駐車場は他エリアに整備する。



通常時の様子



東側からの眺め イベント時(臨時駐車場)

【1-③ ウェーブスタジアム刈谷】

概要	<主な競技> ・陸上競技、サッカー、ラグビーなど <トラック> ・1周 400m・8コース、直線 150m・3,000m 障害走路をトラック外側に設置 <フィールド> ・走幅跳助走路(砂場 2 か所・延長 63m)・三段跳助走路・棒高跳助走路(突き箱 2 か所・延長 70m)・走高跳び助走路・槍投助走路・円盤・ハンマー投サークル ・砲丸投サークル <収容人数> ・メインスタンド:2,602 人 (内車椅子スペース 14 席)・芝スタンド:1,400 人 <設備> ・ナイター照明、電光掲示板 <構造> ・鉄筋コンクリート(鉄骨)造 3 階建
現状	・ラグビーでは国内トップリーグ、陸上競技では第 3 種公認競技場として各種大会、サッカーでは東海社会人リーグのほか、スポーツ協会加盟団体のリーグ戦、学校の体育大会や地区主催の運動会などで利用されている。
課題	・施設の有効利用やにぎわい創出の観点から、トップリーグや高校生・大学生の大会を開催するなどを検討する余地がある。
方向性	・各種大会招致や競技団体誘致等及び、競技を観戦しやすい環境を調査・研究し、必要に応じて施設機能や規模を検討する。



スタジアムの様子



2.刈谷市体育館・3.刈谷球場



【2.刈谷市体育館】

概要	<設備> ・アリーナ、卓球場、柔道場、剣道場、弓道場、エアライフル場、トレーニング場、多目的室、キッズルーム、宿泊施設、会議室 <構造> ・鉄筋コンクリート（鉄骨）造 3 階建
現状	・各種競技の国内トップリーグから市民大会まで、様々な形で利用されている。 ・施設予約数は安定しており、日常的な利用ニーズも高い施設である。
課題	・昭和 44 年の竣工から 57 年が経過している。 ・施設の老朽化が進み、施設修繕や維持管理に係る経費が増加している。 ・「魅力あふれる公園づくり構想」では、歴史体感・エリアとなっているため、整合性を図る必要がある。
方向性	・将来的に歴史博物館北側に移転する。 ・武道場については用途を変更して継続利用する。 ※移転先に武道場の機能を備える。 ・施設規模については、整備の際に利用状況を踏まえ検討する。



東側市道からのファサード



南側入口

【3.刈谷球場】

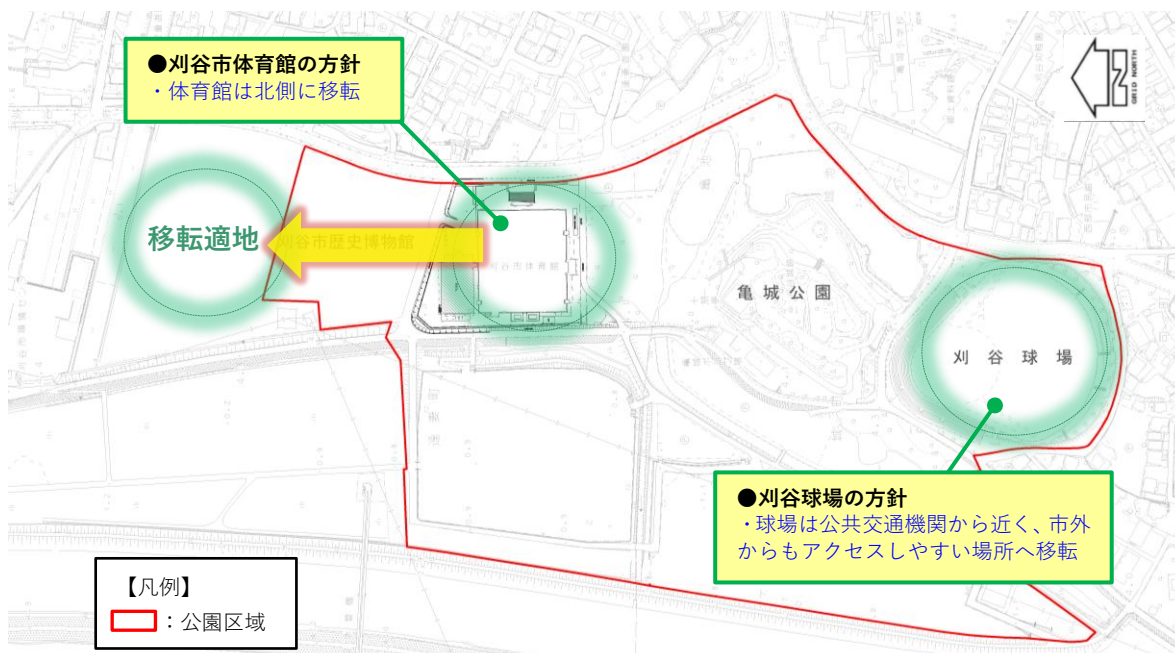
概要	<設備> ・屋内ブルペン、電光掲示板、ナイター照明 <収容人数> ・10,000 人（内野 5,000 席 外野 5,000 席） <構造> ・鉄筋コンクリート（鉄骨）造 2 階建
現状	・硬式野球や軟式野球の各種大会、ソフトボール国内トップリーグなど、様々な形で利用されている。 ・施設の予約率は高く、土日祝は常に利用されている状態である。
課題	・平成 6 年に全面改築され、32 年が経過している。 ・修繕が必要な箇所が増えている。 ・周辺住宅の住環境に、飛球や騒音などの影響を与えている。 ・「魅力あふれる公園づくり構想」では、刈谷城址・エリアとなっているため、整合性を図る必要がある。
方向性	・施設改修や修繕を行い、当面の間は現施設を活用する。 ・将来的には周辺環境や住環境を考慮し、移転する。 ・移転先は市外からもアクセスしやすいよう、公共交通機関から近く、利便性の高い場所を検討する。



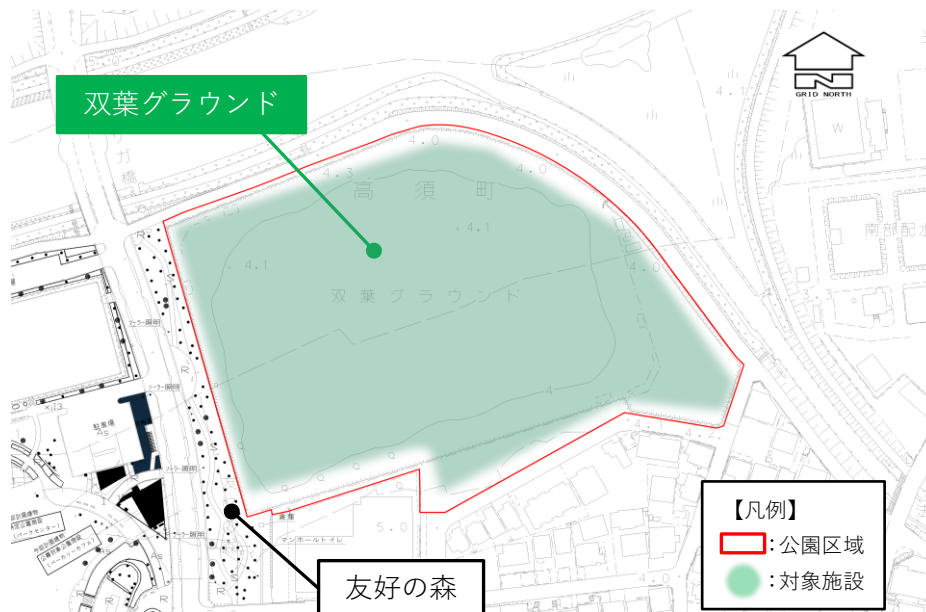
球場内の様子



正面入口



4.双葉グラウンド



概要	敷地面積：約 2.2ha <競技> 軟式野球・ソフトボール <設備> ・ナイター照明
現状	軟式野球やソフトボールなどの各種大会等や練習場として利用されている。
課題	- 当該地は学校予定地であったことから、暫定的にスポーツ広場として整備され、トイレや駐車場等の設備が不十分である。 - 敷地面積の制約上、基準に適合した野球場を2面配置することができない。 - ニーズや実施状況から、施設の適正配置の検討が必要。
方向性	令和7年度に体育施設として位置づけたことから、市全体のスポーツ施設配置バランス等を考慮し、再整備を検討する。



グラウンド東側の眺め



グラウンド西側の眺め

2 スポーツ施設整備に向けたニーズや整備状況の把握

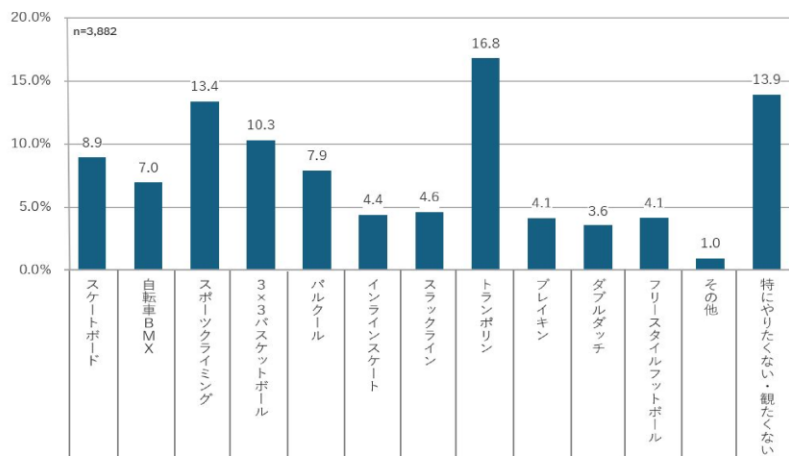
(1) スポーツニーズに関する調査

① アーバンスポーツに関する市民意識

- ・アーバンスポーツに関する市民意識調査では、「やってみたい、観てみたいアーバンスポーツについて」という設問に対して、「トランポリン」が16.8%と最も多く、その他、「スポーツクライミング」、「3×3 バasketボール」、「スケートボード」、「パルクール」などにも回答があり、特に若年層から、アーバンスポーツに対しての期待が高まっています。
- ・また、アーバンスポーツ施設については、「はじめての人でも気軽に始められる施設」が42.7%と最も多く、「いろいろなアーバンスポーツができる施設」についても回答があり、初心者向けの設備を求める傾向にあることが分かります。
- ・自由意見では、多様な視点から意見があり、様々なニーズに対応した整備が求められます。

(6) やってみたい、観てみたいと思うアーバンスポーツについて

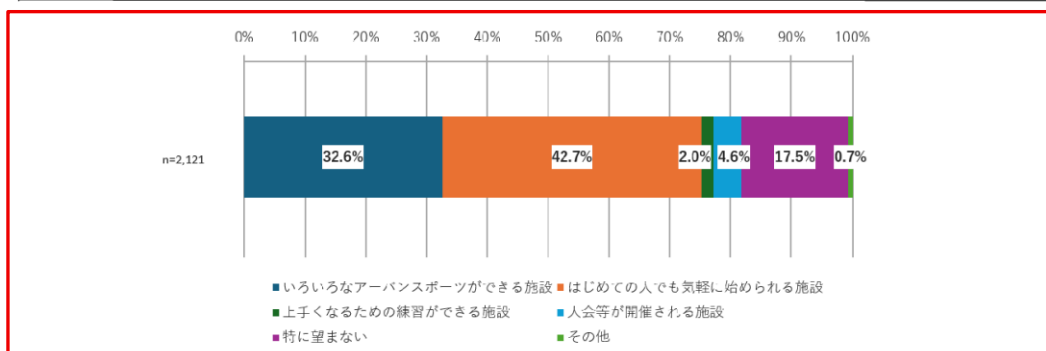
- ◆ トランポリン・クライミングの割合が比較的高くなっています。
- ◆ 女性はトランポリンを選ぶ割合が多くなっています。
- ◆ 票は「スケボー・クライミング・スラックライン等」に分散し、特定競技への集中はないことが分かります。



		全 体	ス ケ ー ト ボ ー ド	自 転 車 B M X	ス ポ ー ツ ク ラ イ ミ ン グ	3 × 3 バ ス ケ ッ ト	パ ル ク ー ル	ト ラン ポ リ ン	ス ラ ッ ク ラ イ ン	ト ラン ポ リ ン	ブ レ イ キ ン （ ブ レ イ ク ダ ン ス ）	ダ ブ ル ダ ッ チ	フ リ ー ス タ イ ル フ ッ ト ボ ー ル	そ の 他	い ・ 観 た く な い	特 に や り た く な い
全体		3,882	8.9	7.0	13.4	10.3	7.9	4.4	4.6	16.8	4.1	3.6	4.1	1.0	13.9	
性別	男性	1,879	9.3	8.5	14.8	10.7	8.6	3.9	5.4	11.9	3.2	1.8	6.7	1.0	14.2	
	女性	1,940	8.6	5.5	12	10.1	6.9	4.7	4.0	21.5	5.0	5.3	1.8	1.0	13.7	
年齢	14歳以下	79	15.2	10.1	8.9	13.9	12.7	7.6	3.8	13.9	6.3	2.5	3.8	-	1.3	
	15～19歳	159	13.8	4.4	9.4	13.2	13.8	1.9	3.8	18.2	6.3	3.8	5.0	-	6.3	
	20～24歳	170	8.8	5.9	13.5	13.5	9.4	3.5	4.1	20.6	5.9	2.4	4.1	-	8.2	
	25～29歳	286	8.4	4.5	12.6	11.5	8.4	5.9	5.6	18.5	3.8	3.8	7.0	0.3	9.4	
	30～34歳	505	9.1	7.5	12.1	10.3	8.5	4.6	3.8	18.2	5.1	4.4	4.8	0.6	11.1	
	35～39歳	566	10.6	8.5	13.8	12.2	8.5	4.9	5.8	17.7	4.2	2.5	4.1	0.5	6.7	
	40～44歳	518	7.5	6.2	14.3	11.2	8.7	4.8	5.4	19.7	3.5	5.0	2.9	0.6	10.2	
	45～49歳	505	9.1	8.1	13.7	11.7	8.9	5.0	6.5	14.1	3.0	4.0	5.7	-	10.3	
	50～54歳	416	9.1	6.0	15.4	6.7	6.7	4.3	3.4	15.6	4.6	2.9	3.6	1.9	19.7	
	55～59歳	250	8.0	6.8	15.6	7.6	4.8	2.8	4.0	13.6	3.6	4.0	2.0	-	27.2	
	60～64歳	182	7.7	7.7	15.9	8.2	3.8	3.3	2.7	13.7	2.7	3.8	2.7	3.8	23.6	
	65～69歳	114	4.4	8.8	10.5	4.4	3.5	4.4	3.5	14.0	1.8	2.6	2.6	5.3	34.2	
	70～74歳	68	4.4	1.5	10.3	4.4	2.9	1.5	1.5	16.2	2.9	1.5	4.4	5.9	42.6	
	75歳以上	64	4.7	9.4	9.4	6.3	-	-	-	12.5	6.3	1.6	1.6	3.1	45.3	
居住地	刈谷南中学地区	591	8.5	6.4	12.5	10.8	8.8	4.6	5.4	17.1	5.6	2.2	3.7	1.7	12.7	
	刈谷東中学地区	610	9.3	6.1	14.4	10.2	8.9	5.9	3.6	17.9	3.4	2.8	4.1	0.5	13.0	
	富士松中学地区	562	7.7	6.8	13.5	10.0	6.2	4.3	4.3	20.1	3.7	4.8	5.3	0.7	12.6	
	雁が音中学地区	871	7.9	6.3	13.8	10.4	7.1	3.1	4.7	15.7	4.4	3.8	3.7	1.3	17.8	
	依佐美中学地区	361	6.9	7.8	13.9	10.0	8.9	3.6	5.0	16.9	3.9	3.0	5.3	0.6	14.4	
	朝日中学地区	301	10.3	5.6	13.0	8.6	8.3	5.3	4.0	16.3	5.0	4.7	5.3	0.3	13.3	

(7) アーバンスポーツ施設について

- ◆「はじめての人でも気軽に始められる施設」が最多（42.7%）となっており、初心者向けの施設が求められています。
- ◆続いて「いろいろなアーバンスポーツができる施設」（32.6%）が多く、上達や大会などの割合は少なくなっています。



		全 体	ポ ー ツ が で き る ア ー バ ン ス	は じ め て の 人 で も 気 軽 に	で き 手 く な る た め の 練 習 が	大 会 等 が 開 催 さ れ る 施 設	特 に 望 ま な い	そ の 他
全体		2121	32.6	42.7	2.0	4.6	17.5	0.7
性 別	男性	1,036	34.7	38.8	1.9	5.3	18.2	1.1
	女性	1,054	30.8	46.5	2.0	4.0	16.5	0.2
年 齢	14歳以下	30	60.0	26.7	13.3	-	-	-
	15～19歳	72	48.6	33.3	1.4	4.2	12.5	-
	20～24歳	86	40.7	41.9	1.2	5.8	10.5	-
	25～29歳	154	43.5	35.1	3.2	3.2	14.3	0.6
	30～34歳	260	28.5	44.2	1.5	6.5	17.7	1.5
	35～39歳	263	35.0	46.8	3.4	3.8	10.6	0.4
	40～44歳	263	37.6	43.3	1.5	3.8	13.3	0.4
	45～49歳	252	35.3	39.3	2.4	4.0	19.0	-
	50～54歳	254	24.4	44.5	1.2	5.9	23.2	0.8
	55～59歳	167	27.5	41.9	1.2	4.2	24.0	1.2
	60～64歳	122	23.0	45.1	1.6	5.7	23.0	1.6
	65～69歳	82	28.0	46.3	-	2.4	23.2	-
	70～74歳	61	24.6	42.6	1.6	4.9	26.2	-
	75歳以上	55	14.5	54.5	-	5.5	23.6	1.8
居 住 地 区	刈谷南中学地区	311	29.6	46.3	1.6	5.8	16.4	0.3
	刈谷東中学地区	331	35.6	42.3	1.8	4.2	15.4	0.6
	富士松中学地区	291	36.1	43.3	1.4	3.4	15.8	-
	雁が音中学地区	522	33.0	37.9	2.1	4.8	21.3	1.0
	依佐美中学地区	200	26.5	50.5	1.5	6.0	15.0	0.5
	朝日中学地区	163	28.8	42.3	2.5	3.1	22.7	0.6

【主な自由意見の整理】

- ①する・・・ 体験や実際の競技など、プレイヤー(競技者)の視点による意見
→平日も土日滑れるパーク、子ども達が気軽に安全に練習できるパーク など
- ②みる・・・ 観戦など、観客の視点による意見
→高齢者でも見て楽しめる、観戦しやすい環境、国際大会等ができる施設 など
- ③ささえる・・・ 若者の活躍や健全な成長への期待など、地域社会の視点による意見
→使用方法のルール明確化、市民が気軽にいける場所、安全性の確保 など
- ④その他・・・ ①～③に当てはまらない視点による意見
→アーバンスポーツ以外の施設整備・改修、駐車場の拡大も必要、年齢的に難しい など

アーバンスポーツに関する市民意識調査結果 一般(令和7年度調査)より

②中学生のスポーツニーズ

- ・アーバンスポーツを含めたスポーツについて、市内の2中学校を対象に、ワークショップを行いました。ワークショップでは、「やってみたいスポーツ」、「やってみたいアーバンスポーツ」という設問に対して、意見交換を行いました。
- ・やってみたいスポーツについては、**いろいろなスポーツに興味を持っていることが分かり、上位には「スポーツクライミング」、「トランポリン」、「スケートボード」**などといったアーバンスポーツがランクインしました。
- ・やってみたいアーバンスポーツについては、「**3×3 バasketボール**」、「**スポーツクライミング**」、「**スケートボード**」などといったアーバンスポーツがランクインしました。
- ・アンケートでは「**はじめての人でも気軽に始められる**」、「**いろんな種目をやりたい**」という意見が多くありました。

▼ みんなの意見＜授業編＞

▼やってみたい「スポーツ」

- ・多かった意見

順位	種目
1位	バドミントン
2位	テニス
3位	バレーボール
7位	スポーツクライミング
8位	トランポリン
9位	スケートボード パルクール

全部で約250種目
ほどの意見が
出ました！

上位10種目中
アーバンスポーツが
4種目ランクイン

- ・その他ユニークな種目

ピクセルボール、ベースボール5、
アメリカンドッジボール テニピン など

感想

いろいろなスポーツに興味を持っていることに
驚かされました。
・さまざまなスポーツがある中でも**アーバンスポーツ**についての関心が高さが、思った以上に高い
ことが分かりました。

▼やってみたい「アーバンスポーツ」

- ・多かった意見

順位	種目
1位	3x3バスケットボール
2位	スポーツクライミング
3位	スケートボード トランポリン パルクール

1位～3位まで
同じくらいの意見の
多さでした

- ・その他ユニークな種目

スポーツ鬼ごっこ、ビーチバレー など

- ・印象的な意見（やってみたい・みてみたい理由）

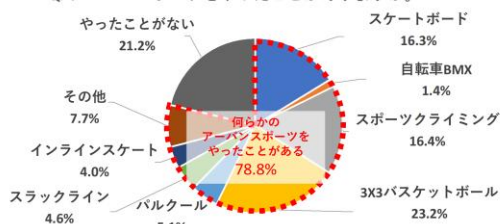
「カッコいいから」
「楽しそうだから」
「少人数でも楽しめるから」
「見ていてワクワクする」

感想

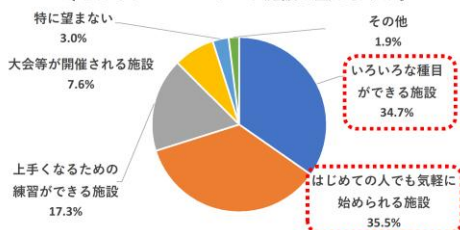
特定の種目にかたよらず、上位5種目は同じ
くらいの意見の多さでした。
・みなさんが感じている**アーバンスポーツの魅力**
がとても印象的でした。

▼ みんなの意見＜アンケート編＞

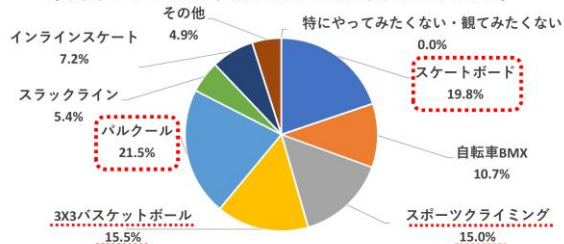
Q. アーバンスポーツをやったことがありますか。



Q. どんなアーバンスポーツ施設を望みますか。



Q. 今後、やってみたい、観てみたいと思う種目はありますか。



- ・「**アーバンスポーツをやったことがある**」と答えた人が**全体の約8割**にのぼり、予想以上に多いことが分かりました。
- ・パルクール、スケートボードの人気の高かったものの、**どの種目も同じくらい興味を持っている人が多かった**ことが分かりました。
- ・施設としては「**はじめての人でも気軽に始められる**」「**いろんな種目をやりたい**」という声が多かったです。

2 中学校の授業(ワークショップ)の結果まとめより

③第3次スポーツマスタープランにおける中間アンケート調査結果

- ・ 中間アンケートでは、「ウォーキング（運動のための散歩など）」が 59.3%と最も多く、他の項目と比べるとその差は大きい。

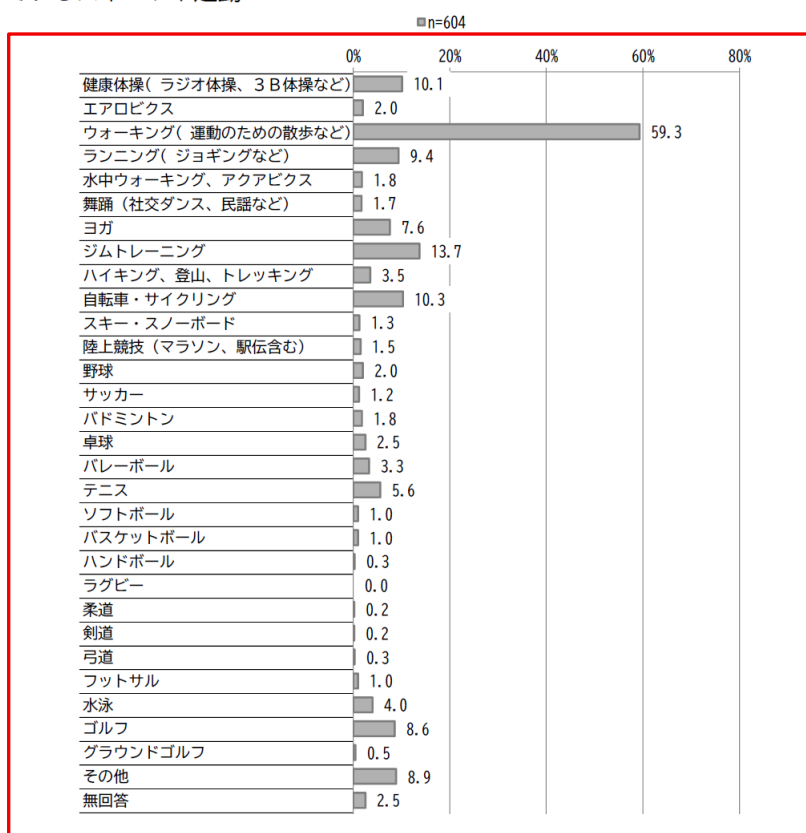
（問2で『1. ほぼ毎日（週に6～7回）』～『4. 週に1回』のいずれかに回答した方にお聞きします）

問2-1 具体的にどのようなスポーツや運動を行っていますか。（○はいくつでも）

行っているスポーツや運動について、「ウォーキング（運動のための散歩など）」が 59.3%と最も多く、次いで「ジムトレーニング」（13.7%）、「自転車・サイクリング」（10.3%）となっています。

- ◆『性別』でみると、男性、女性ともに「ウォーキング（運動のための散歩など）」が多くなっています。
- ◆『年齢』でみると、すべての年代で「ウォーキング（運動のための散歩など）」が多くなっています。
- ◆『居住地区』でみると、すべての地区で「ウォーキング（運動のための散歩など）」が多くなっています。

図表 12 行っているスポーツや運動



(2)スポーツ施設の整備状況

市内にはウィングアリーナ刈谷や刈谷市体育館があり、多種多様な屋内スポーツのニーズに対応できています。市民の利用が多い屋外スポーツは、サッカー、野球、ソフトボール、テニス、グラウンドゴルフなどの種目があり、サッカーは、ウェーブスタジアム刈谷をはじめとする専用のサッカー場が多数あり大会等も滞りなく開催できています。またグラウンドゴルフは、刈谷市総合運動公園自由広場など様々な場所で活動できています。しかし野球やテニスは専用の設備が必要であり、稼働率が高く予約が取りづらい状況であることから市内の野球場とテニスコートの整備状況について整理します。

①市内の野球場の整備状況

- ・市内には軟式野球・ソフトボールができるグラウンド等が 11 か所 17 面あり、各種大会や練習などで利用されている。
- ・国内の野球人口は減少傾向にあり、本市でも軟式野球連盟の加盟数が大きく減少している。
- ・硬式野球や軟式野球の各種大会、ソフトボール国内トップリーグが開催される刈谷球場は、利用目的や競技レベルに応じた需要があり稼働率が年間を通して 7 割を超えている。
- ・稼働率が高く、芝の管理状況にも不具合が生じるなど、施設の維持管理に苦慮している。
- ・市内でスタンドを有する野球場は刈谷球場のみであり、今後、野球を通じた地域の魅力づくりを進めるうえでは、子どもたちを含めた競技者の競技意欲を高める環境整備が必要である。

登録者数（人）	H18	H28	R3	R8
軟式野球連盟	2,763	2,753	2,256	1,323
ソフトボール連盟	290	233	267	223
合計	3,053	2,986	2,523	1,564

②市内のテニスコートの整備状況

- ・テニスコートについて、連盟登録者数は横ばいであるが、施設数が 16 面となっており、利用需要に比べて少ないことが課題である。
- ・オムニコートは、市の北部の洲原公園、中部の狩野公園に整備されている。
- ・南部地域にはオムニコートのテニスコートが整備されていない。
- ・オムニコートは天候に左右されず使用できるため人気が高く予約がとりづらいため、新たなテニスコートの整備が求められている。

登録者数（人）	H18	H28	R3	R8
テニス連盟	373	515	514	441
ソフトテニス連盟	483	382	286	353
合計	856	897	900	794

他市との比較	刈谷市	碧南市	豊田市	安城市	西尾市	小牧市	稲沢市
人口（人）※	152,606	71,914	414,394	187,252	168,617	149,000	135,000
テニスコート（面）	16	16	60	14	42	18	19
人口 1 万人当たりの整備数(面)	1.05	2.22	1.45	0.75	2.49	1.21	1.41

※人口は令和 8 年 4 月 1 日時点(碧南市は令和 8 年 3 月 31 日時点)

<参考>スポーツ施設を利用できる人数

○テニス(1 面 4 人想定) 16 面×4 人=64 人（登録者の 8.1%）

○野球(1 面 18 人想定) 17 面×18 人=306 人（登録者の 20%）

市内のグラウンド・テニスコート位置図

グラウンド等

- ①井ヶ谷グラウンド
- ②金山運動広場
- ③青山公園グラウンド
- ④狩野公園グラウンド
- ⑤日高公園グラウンド
- ⑥原崎公園グラウンド
- ⑦亀城グラウンド
- ⑧刈谷球場
- ⑨双葉グラウンド
- ⑩野田公園グラウンド
- ⑪小垣江グラウンド

テニスコート

- ⑫洲原テニスコート: 4 面
(オムニコート)
- ⑬狩野公園テニスコート: 4 面
(オムニコート)
- ⑭神田公園テニスコート: 2 面
- ⑮塩田テニスコート: 2 面
- ⑯住吉テニスコート: 4 面
- ⑰(予定)たまちテニスコート: 6 面

第3章 整備の概要

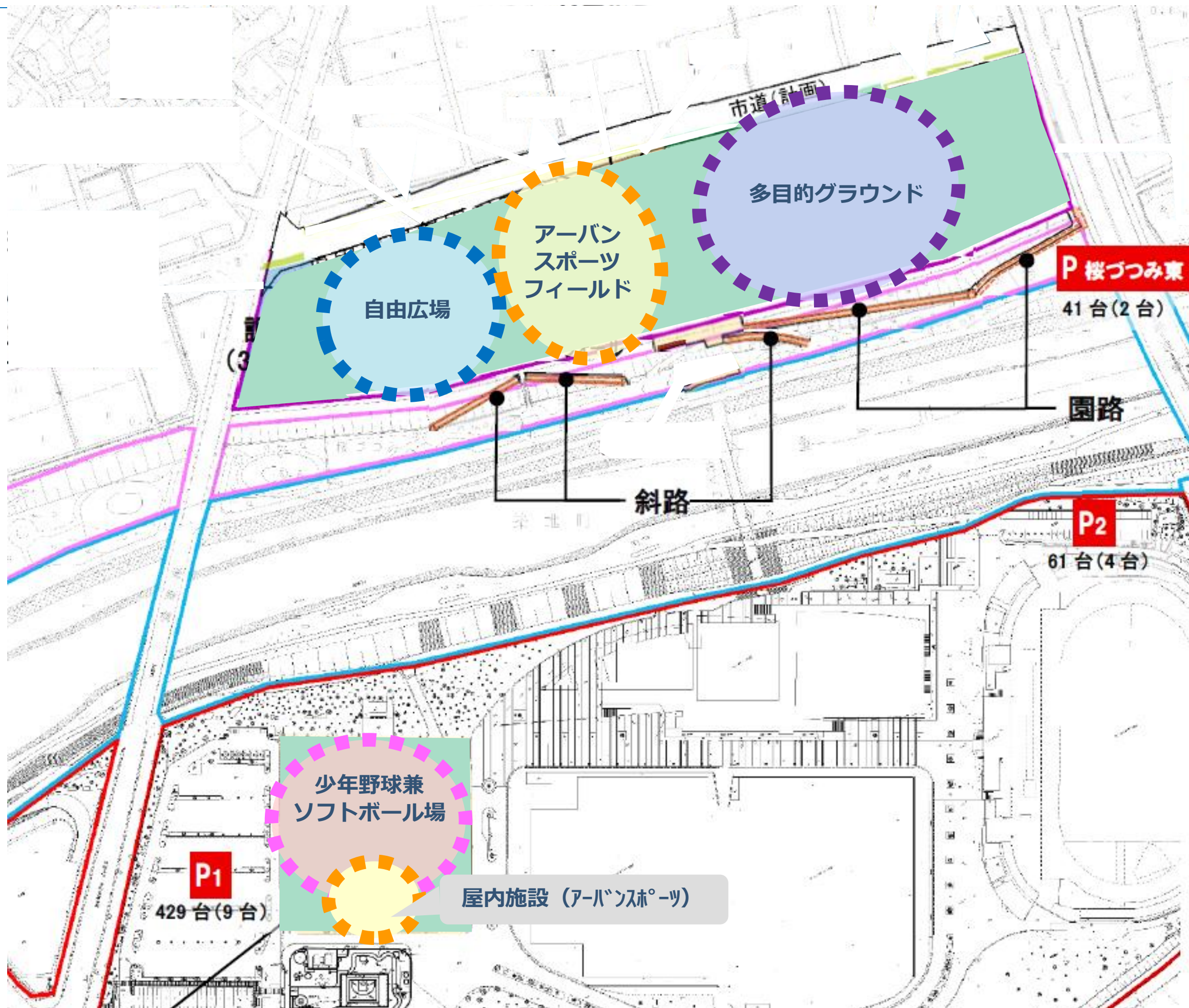
対象施設の今後の整備方針を以下の表に示します。

番号	対象施設	整備の方針
1-①	刈谷市総合運動公園 逢妻川北側拡張区域	・多目的グラウンドを整備 ・アーバンスポーツフィールドを整備 ・ウォーキングコースを整備 ・自由広場を移転
1-②	刈谷市総合運動公園 自由広場	・少年野球場兼ソフトボール場を整備 ・屋内スポーツ施設（アーバンスポーツ）を整備
1-③	刈谷市総合運動公園 ウェーブスタジアム刈谷	・施設機能や規模を検討
2	刈谷市体育館	・歴史博物館北側に移転
3	刈谷球場	・アクセスしやすく利便性の高い場所へ移転
4	双葉グラウンド	・野球場を改築（観覧席含む） ・テニスコートを整備

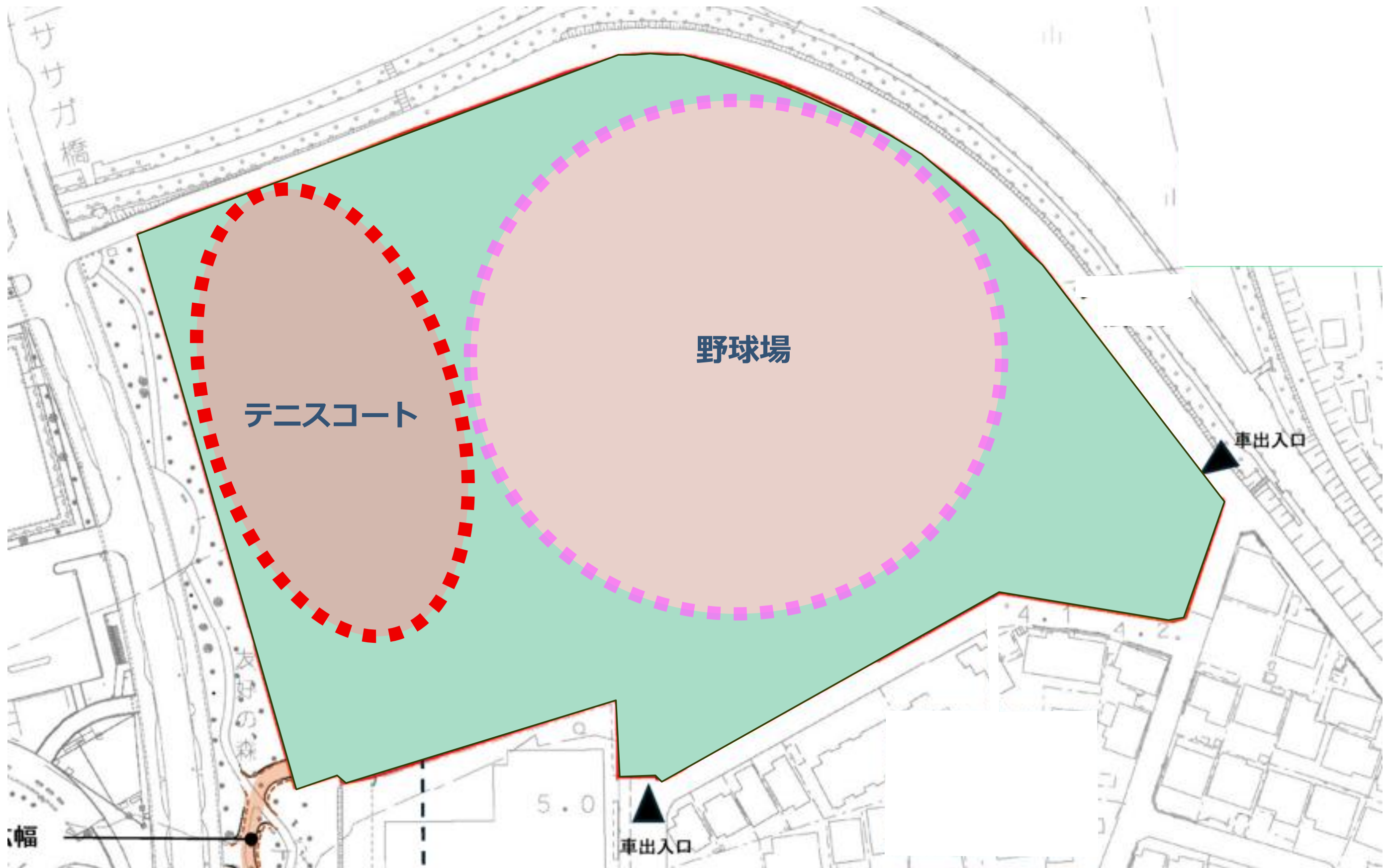
※各施設には施設規模に応じた規模の駐車場を整備する。

さらに、整備を行う「刈谷市総合運動公園」、「双葉グラウンド」の整備概要を次頁より整理します。

1 刈谷市総合運動公園 整備概要



2 双葉グラウンド 整備概要



第4章 今後のスケジュール

アクションプランは「魅力あふれる公園づくり構想」や市の他事業との調整を図りながら進めて行きます。想定する事業スケジュールは以下の通りです。

		事業期間※		
		短期 (2027 年～2029 年度)	中期 (2029 年～2039 年度)	長期 (2040 年度以降)
1.刈谷市総合運動公園	①逢妻川 北側拡張区域	整備事業		
	②自由広場		整備事業	
	③ウェーブ スタジアム刈谷	調査・研究	整備検討	
2.刈谷市体育館			整備事業	
3.刈谷球場				整備事業
4.双葉グラウンド		整備事業		

※事業期間内の「整備事業」には設計や用地買収などを含む。

参考資料

魅力あふれる公園づくり構想（令和5年3月）

本市では、地域の魅力向上や緑豊かな潤いのあるまちづくりに向けて、誰もが行きたくくなるような魅力あふれる公園とするため、市民の意見を将来像や全体のテーマとエリアごとの利活用のイメージを構想図などで示し、今後、整備を進める際の目指すべき姿として、2023年3月に「魅力あふれる公園づくり構想」を策定しています。

本アクションプランにおいても、「魅力あふれる公園づくり構想」でのスポーツに関するテーマや利活用のイメージを踏まえながら、基本的な考え方を定めるものとなります。



図 対象となる5つの公園

・プラススポーツ・エリアの利活用のイメージでは「要望の高いスポーツ施設に加えて、若者に人気の高いスポーツも取り入れた、幅広いスポーツを気軽に体験できるエリア」となっており、スケートボードやボルダリングなどのニュースポーツがイメージされています。

4) 利活用イメージ

+(プラス)スポーツ・エリア

要望の高いスポーツ施設に加えて、若者に人気の高いスポーツも取り入れた、幅広いスポーツを気軽に体験できるエリアです。



【利活用イメージ】

- 未来のアスリートを目指して、子どもたちがスケートボードやボルダリングなどのニュースポーツをしています。
- だれもが一緒にスポーツを楽しんでいます。
- 更衣室やシャワー室、スポーツ用品のレンタルなどを備えた施設があり、だれもが気軽に利用しています。



(イメージ)

魅力あふれる公園づくり構想（令和5年3月） 亀城公園 将来構想図

- ・亀城公園の将来構想では公園の将来像を『「刈谷の歴史を次世代に語りつなぐ」シンボル公園』としています。刈谷球場のある「刈谷城址・エリア」は、刈谷城址としてふさわしい整備を行い、歴史と自然を感じながら一年中だれもが楽しめるエリア、また、刈谷市体育館のある「歴史体感・エリア」は、歴史博物館のもつ機能を拡充し、歴史をテーマとした遊具や飲食・物販施設がある歴史を体感できるエリアとして整備を目指しています。
- ・将来構想では、刈谷球場がある位置に城のお堀や広場、飲食・物販施設、駐車場の方針となっているため、別場所への移転の検討が必要である。また、刈谷市体育館は武道場も含め、北側への移転が予定されており、跡地にはシンボル遊具、屋内遊戯施設、歴史体感広場などの方針となっている。

3) 将来構想図

龜城公園 将来構想

